

第3回検討会の議事概要

1. 第3回検討会の主な内容

六甲アイランドにお住まいの全世帯を対象としたアンケート調査の結果報告と、これまでの戦略分析や周辺地域との比較による分析（マッピング分析）の結果を踏まえて、今後のまちづくりの戦略について意見交換を行った。

○アンケート調査結果

【主な意見】

- ・アンケート調査の回収率は21%となり、一般的に高い回収率となった。また、1,930という回答数は、統計的に分析するうえで十分有効な数値である。
- ・回答者の年代が40代までが少なく、50代以上の高齢の方が多いことから、この結果だけを見て、六甲アイランド全体の意向として捉えないよう留意が必要。
- ・昨年の台風被害により、安全なまちというイメージが弱まった。また、商業施設についてもパントリーの閉店により利便性に問題ありという意見が多かった。まち全体がそういったマイナスイメージにならないよう留意すべき。
- ・商業施設も大事だが、若い世代を呼び込むためには、例えば西宮北口では、学習環境の充実が人を集める要因の一つになっているので参考になるのではないか。
- ・アンケート調査結果の公表方法について、アンケートの回答が無かった方にもタイミングや事情があって出来なかった場合もあるので、要約したものを全戸に配布して欲しい。

⇒ アンケート結果は、要約版を4月26日（金）に全戸配布した。

○周辺地域との比較による分析（マッピング分析）

【主な意見】

（住まう目的）

- ・10歳以下の人口が他の地域に比べて非常に多い。若い世代の人が島外に逃げないように定着化させることが大事。
- ・今後の住宅供給では、一挙の開発ではなく、3年や5年で一定の目標をもって人口の拡充を計ることが一つの方向性だと思う。
- ・新たに来られた方とまちとをどうやって融合させて、コミュニティを形成していくのか。それらを踏まえて、未利用地への新たな施設誘致を進めていくべき。

（集う目的）

- ・今後、先進的な技術を六甲アイランドで活用していくという目的と、その受け皿があれば、一つの大きな産業を誘致できるきっかけになるのではないか。
- ・商業機能の充実にあたり、空室の多い既存施設へ誘導するのか、新たな建物を整備する事業者を誘致するのか、短期的なことと中長期的なものの観点も踏まえて検討していく必要があるのではないか。

（働く目的）

- ・「職」と「住」との関係性の強化、あるいは住まうことの強化により、新しい職が生まれてくる可能性を考えるべきではないか。
- ・六甲アイランドのSOHOやシェアオフィスの在り方がもう少し可能性があることになれば、持続的なまちの発展に繋がっていくのではないか。

（その他の意見）

- ・『住む』という視点を独立して考えるのではなく、『働く』・『集う』の視点も相互に関連しており、それらを踏まえて将来像をまとめていくべき。